

入試結果

	募集定員	一般入試			入学者数
		受験者数	合格者数	倍率	
2018年度	85名	129名	85名	1.52倍	85名
2019年度	88名	94名	88名	1.07倍	88名
2020年度	89名	96名	89名	1.08倍	89名

2020年度合格者平均点	
国語	51.9点
数学	59.7点
英語	47.6点
3科合計	159.2点

※合格者最低点は非公開

2021年度募集要項

◆【募集定員】最低80名

<試験日> 2月3日(水曜日)
<合格発表> 2月8日(月曜日)
<試験科目> 国語・数学・英語

<時間> 各50分
<配点> 各100点

学校情報

●入試について

- 選抜内容は
 - ①学力検査 英・数・国 各100点 合計300点
 - ②調査書 3学年分 (理社は2倍) 合計165点
 - ①、②と志望理由書を合わせ総合的に判断する。
- 学力検査では自校作成問題を使用する。
- 志望理由書は、入学志望理由を志望者(生徒)本人が記入する。選考の補助資料となる。
- 調査書は、各教科について5段階で評定する。その他の記載事項については選考の補助資料とされる。
- 推薦・専願制度はない。

●教育方針について

- ミッション(使命)

生徒一人一人の夢を実現する公立中高一貫教育を推進し、地域社会をリードする人材を育てる。
さまざまな国際交流・国際体験を通して、グローバルな社会で活躍できる人材を育てる。
福山市公立学校全体の発展のため、すぐれた教育実践を創造・発信する。
- ビジョン(将来像)

中高の系統的な学習活動を通して、自己の進路に向け、主体的に歩む生徒を育てる。
中高の学校生活の中で共に成長する経験を通して、心優しく自律する生徒を育てる。
進学校としての位置を確立させ、福山市民が全国に誇れる中高一貫校として発展していく。
- 国公立大学合格者50%以上、難関大学合格者10名以上を目指す。

●国際交流について

- 新世紀を迎えた今、未来を担う人材には国際感覚がますます求められている。福山高等学校では早くからこの点を重視し、1990年カナダグレンデール校との姉妹校縁組みを皮切りに、現在はオーストラリア、ブリスベンへのホームステイなどの国際交流を積極的におこなっている。2005年度からは、中学生も参加している。
- 国際理解教育の一環として、2004年度より、海外修学旅行を実施している。2016年度はシンガポールに行き、現地の大学生と交流したり、文化を体験したりという、体験型の修学旅行をおこなっている。

クラブ活動

- 体育系 野球/ソフトボール/サッカー/陸上競技/バスケットボール/バレーボール/ソフトテニス/卓球/バドミントン/柔道/剣道/少林寺拳法/水泳/ラグビー
- 文化系 吹奏楽/美術/演劇/放送/自然科学/新聞/英語/書道/将棋/家庭研究/福山ワークキャンプ

進路実績

大学の合格実績については、現役生・過年度生の合計人数。()内は、過年度生の内数。

	難関国立大	広島大	国公立合計	早慶上理	明青立法中	関関同立	私大合計	短大	専門学校	就職
2018年度	10名(2)	11名(1)	96名(7)	6名(1)	9名(2)	58名(7)	285名(18)	10名(0)	26名(0)	3名(0)
2019年度	11名(1)	4名(0)	96名(11)	4名(2)	11名(3)	56名(11)	335名(33)	7名(0)	20名(0)	6名(0)
2020年度	8名(0)	9名(0)	102名(0)	3名(2)	3名(0)	45名(0)	365名(0)	9名(0)	22名(0)	6名(0)